

JR東海労なごや

2012年10月1日 No. 924
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部肇

ついに、「ストップ・リニア沿線住民の集い」が開催される！



9月30日、山梨県甲府市で「ストップ・リニア沿線住民の集い9・30」が開催されました。台風接近のさなか各地から172名の住民が参加しました。

リニア中央新幹線建設が決まったことに対して東京～名古屋間の計画沿線に暮らす住民が、計画に戸惑い、不安を覚え、それが怒りに変わり、各地でリニアを考える集会を開催してきました。各地の活動報告を行い、各地の活動を全国的ネットワークに広げていくことを話し合いました。

夢から覚めた地域住民



集会は、各都道府県からの現地報告が行われ、その後、各地域代表によるシンポジウムと質疑を行いました。質疑の中では本部淵上委員長が「今後の進め方について」発言しました。全体で『リニア新幹線は要らない甲府アピール』を採択しました。最後に飯田代表の片桐さんの「台風のエネルギーを貰い皆で進んでいこう」の力強い言葉で集会が終了しました。また、集会の前段にはリニア実験線延伸工事の見学会も行われました。参加者は家の庭先に高架が作られていることに驚愕していました。



なお、「東濃・リニアを考える会」からは、10名が参加し、現地報告は荻野考える会事務担当が行い、シンポジウムは野田契子さんが登壇しました。野田さんからは東濃地域独自の問題として、車両基地・地上駅の問題、希少植物のシデコブシ・ハナノキの群生地さらにはウラン鉱脈の問題を力強く分かりやすく話されました。

なお、「東濃・リニアを考える会」からは、10名が参加し、現地報告は荻野考える会事務担当が行い、シンポジウムは野田契子さんが登壇しました。野田さんからは東濃地域独自の問題として、車両基地・地上駅の問題、希少植物のシデコブシ・ハナノキの群生地さらにはウラン鉱脈の問題を力強く分かりやすく話されました。